

三陸北部森林管理署の採材現地検討会に参加

令和7年9月10日(水)、岩手県宮古市の南田代山国有林内において三陸北部森林管理署主催の採材検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。

当日は晴天のなか、県・市村担当者、林業関係団体や林業事業体など69名の参加者を得て開催されました。三陸北部森林管理署長の挨拶後に講師の紹介、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。次に岩手県森林組合連合会と(株)川井林業から木材市況等についての情報提供をいただき、署担当者から現地概要等について説明を行い、実際の採材検討に移りました。



開会式の様子



参加者が5班に分かれて採材検討

会場に準備されたカラマツ、シラカバ、ミズナラ、ミズキの供試木を、参加者が5班に分かれてそれぞれ採材について検討し発表。発表結果について(株)川井林業と岩手県森林組合連合会から解説していただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただき、有利採材に向けての理解を深めることができました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話をいただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



各班の検討結果について解説



労働災害未然防止に向け指導